

委員会での 報告事項

城陽市上下水道事業

経営審議会の審議状況

市は、下水道事業における将来への持続性確保を目的とする市下水道事業ビジョンの策定に当たり、これまで4回の審議会を開催、パブリックコメントを実施し検討を進めてきました。今後第5回審議会において令和2～11年度を計画期間とするビジョン案と答申のとおりまとめを行い、2年度内のビジョン完成を目指す予定です。

本市下水道事業会計は資金不足が常態化して平成30年度に15・7億円に達しています。審議会においては、計画期間中に一般会計か

ら3・8億円を積み増しし、繰り出すこと、3年10月に料金改定を行うことを想定して審議を進めています。この場合、国・府が指導する11年度までの資金不足解消を達成するために必要な平均使用料の改定率は14・5%となる見込みです。

委員は「10年後に向けた具体的ビジョン」「料金改定が行われた場合の一般家庭への影響」を問いましたが、

市は「耐震化と、持続可能な運営のための資金不足解消が目標」「2カ月40立米の使用として8・65%、495円の引き上げになる」と答えました。

また委員からは「社会的弱者への料金減免は継続を」「審議会での内容はポイントを絞って報告を」等の意見が出ました。

(総務常任委員会)

城陽市高齢者保健福祉計画・第8期城陽市介護保険事業計画骨子(案)等

現計画が令和2年度で満了となることから、市は在宅介護実態調査等による基礎資料も踏まえ見直しを行い、このほど第8期の事業計画策定に向けた骨子案をまとめました。

これは、団塊の世代が75歳以上となり介護が必要な高齢者が急増する7年度を見据え、地域包括ケアシステム

の推進・深化を図るもの。計画期間は3年度からの3カ年。骨子案では、新たに▽地域リハビリテーション活動支援事業▽減塩のまちの推進―等を取り入れています。

今後計画書原案を作成し、年明けにパブリックコメントを実施、最終案をまとめ、令和3年第1回定例会に報告の予定です。

委員は「富野・青谷校区の高齢者は中部地域包括センター(鴻の巣会館内)を利用されているが、不便な状況。市南部に新たに増設の考えは」と問いました

が、市は「職員が自宅に訪問するなど対応している。現状は認識しており、人員増や増設等を検討したい」と答えました。

このほか元年度の介護保険の取り組みについて報告がありました。(福祉常任委員会)

新型コロナウイルス

感染症に伴う特別定額給付金及び事業者支援

国の特別定額給付金は、令和2年8月31日の期限までに市の3万4824世帯7万5713人が申請し、申請率は世帯数で99・7%に上りました。

また市の事業者支援制度の現時点での申請実績は▽農業者等新型コロナウイルス感染症

対策支援事業費補助金2件▽明日の農業経営支援給付金47件▽城陽産業おうえん補助金13件▽城陽市休業要請対象事業者支援給付金244件▽城陽がんばる事業者支援給付金702件で、城陽働く力おうえん補助金について

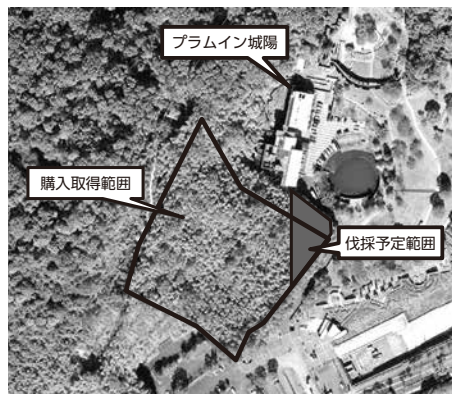
はまだ申請がなく、問い合わせ10件の状況です。なお、がんばる事業者支援給付金は1800社への予算を設定しており、12月28日の申請期限まで積極PRを図っていきます。

このほか商工会議所が実施するプレミアム付商品券発行事業等の

各種事業者支援に補助を行っているところ(建設常任委員会)

城陽市総合運動公園レクリエーションゾーン隣接地の取得及び竹木伐採

このほど寺田大川原の当該土地4369平米を購入取得する運びとなりました。このうち約700平米については府の交付金を活用して放置されている竹木の伐採を行い、道路からプラムイン城陽を見やすくすることで集客力アップを図ります。(文教常任委員会)



▲城陽市総合運動公園レクリエーションゾーン(ロゴスランド)隣接地の取得及び竹林伐採箇所(筆界及び伐採予定範囲は目安として記載しています)